

## 1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成25年3月30日

## 【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4691000055
法人名	有限会社 童里夢
事業所名	グループホーム どリーむ大山
所在地	鹿児島県指宿市山川大山2951番地 (☎) 0993-35-0280
自己評価作成日	平成25年3月6日

## 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

2年の間一緒に過ごして、利用者と職員、又、利用者同士も馴染みの関係になり、穏やかな日常生活を送れているが、少しずつ利用者のADLの低下や認知度の進行が見られ、職員は利用者が安心・安全に楽しく毎日を過ごせるよう心を砕いている。

利用者の介護度は1～5と幅があるが、花植えや野菜作り、昔取った杵柄の保存食(漬物・干しだいこん・プラムジュース)作りや餅つき、外出(花見・ドライブ・地域のふるさと市など)の機会を楽しんでいる。

利用者の家族には、毎月『生活状況のお知らせ』をお渡ししている。そしてお互いに、何でも相談出来る信頼関係が築けている。

地元の利用者や職員を通して、地域との関わりもスムーズに出来ており、六月灯やふれあい市場などいろいろな行事にも参加している。

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	<a href="http://www.kaigokouhyou.jp/kaigosip/Top.do?PCD=46">http://www.kaigokouhyou.jp/kaigosip/Top.do?PCD=46</a>
-------------	---

## 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人自立支援センターかごしま 福祉サービス評価機構
所在地	鹿児島県鹿児島市星ヶ峯四丁目2番6号
訪問調査日	平成25年3月20日

## 【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

- ・当事業所は県道近くの住宅街にあり、周囲には消防署や交番・郵便局・医療機関・スーパーマーケット等があり、広く地域の人たちとふれあいながら生活できる環境にある。
- ・運営推進会議が充実しており、意見交換が活発に行われ、意見を参考に話し合い、ホームの運営に反映させている。
- ・ホームは町内会に加入し、地域行事に参加したり、職場体験学習を受け入れたりして、地域との交流が図られている。
- ・災害対策については、消防署の協力を得て、昼夜間想定した避難訓練を実施している。スプリンクラーや非常出入り口などの施設整備がなされている。
- ・地域の人々の様々な相談を受けながら、事業所の役割を活かし認知症ケアなどの啓発に努めている。
- ・管理者は、職員が働きやすい職場環境作りに取り組んでいる。職員はケアの資質向上をめざしている。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	朝のミーティング時に理念を唱和し、共有と実践に努めている。	職員と話し合っ、地域との関連性を重視した独自の理念があり、ミーティングで唱和し確認し合っ、具体的なケアについて意見の統一を図っている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	自治公民館で行われる、高齢者のふれあい会や地域の交流会等への参加を通して、地域の一員として受け入れられている。	ホームとして、町内会に加入し、地域での買い物の際には、挨拶や会話を楽しんでいる。中学生の職場体験やボランティアを受け入れたりして、親しく地域との交流を行っている。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	近所の方や地域の方々からの電話相談や直接相談に対しては、親身な対応を心掛け、協力に努めている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2ヶ月毎の開催で、状況報告を行っている。参加者より、地域の情報や活動の提案を頂き、支援に活かしている。	会議には、家族代表や行政・自治会長等が参加し、事業所の状況や現在取り組んでいる事項について報告し、意見交換を行っている。出された意見等は、サービス向上などの事業運営に活かされている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	<p>○市町村との連携</p> <p>市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。</p>	<p>運営推進会議や実地指導の機会を使って、色々な情報やアドバイスを頂いている。</p>	<p>市担当者とは、利用者のプランの相談やアドバイスを受けて、日頃から連携を取り合い情報交換をしている。</p>	
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>身体の動きを抑制するような拘束の実施は無い。利用者と思いの疎通を図りながら、身体の介護を行っている。玄関の施錠は、夜間の防犯目的のみである。</p>	<p>身体拘束をしないケアに取り組み、昼間は玄関の施錠はせず、利用者が外出しそうな様子を察知したら見守って、さりげなく声をかけたり一緒に行動する等、安全に配慮して自由な暮らしを支援している。</p>	
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>打撲や打ち身などは、発見者が記録に残し、皆で原因究明や再発防止の検討をしている。BPSD等については、職員間で対応を協議し、介護の統一を図っている。管理者は職員に、積極的に研修会への参加を促している。</p>		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p>	<p>市町村の担当者や関係機関と連携を取り、相談したりアドバイスを頂いたりしている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		○契約に関する説明と納得  契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	入所時に、重要事項説明書を基に、契約の締結や解除についての説明を行い、理解を得ている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映  利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	面会時には、報告だけでなく要望や意見も伺うよう努めている。利用者の要望や意見もきちんと聞いている。	利用者からは、日々の生活の中で思いを聞いている。家族からは家族会参加や面会時に、気軽に話せるような雰囲気づくりをして話を聞いている。出された意見や要望等は、職員で話し合い、運営に反映させている。	
11	7	○運営に関する職員意見の反映  代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	昼休みに10分位のティータイムを設け、職員・管理者が気軽に問題提起し話し合い、運営に反映している。毎月開催の職員会議でも、丁寧な意見交換を行っている。	管理者は職員から気軽に意見や提案を聞く機会を設けたり、毎月開催の職員会議で意見交換を行っている。出された意見や要望等は、検討して具体的な改善につなげている。	
12		○就業環境の整備  代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	緊急時や希望勤務の調整を行い、生活とのバランスに気を配っている。資格取得に関する支援を行ったり、個々の努力や意欲が報われるように努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>職員のケアの力量や研修の内容に合わせて、代表者が管理者と話し合い、外部研修を受ける機会を確保している。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>県はもとより、薩摩半島地区や指宿地区のグループホーム協議会に入会し、同業者との交流に努めている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<p>職員が、利用者の家族・生活・既往歴等を把握した上で、本人の話を傾聴し、笑顔で穏やかに対応することで、安心して頂けるよう努めている。</p>		
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	<p>入所申し込みの時から、家族の訴えに親身になって対応し、入所時にはさらに詳しく要望に耳を傾けることで、信頼関係作りに努めている。</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>入所申し込みがあると、定期的に電話や訪問で状況を見極め、担当のケアマネジャーとともに、適切な対応が出来るよう努めている。</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支え合う関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>職員はホームを「もう一つの家」と考え、利用者を「共に支え合って生活する者同士」として、関係を築いている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		<p>○本人と共に支え合う家族との関係</p> <p>職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている</p>	<p>面会時には、家族だけの時間や空間を提供して絆を支援したり、間を取り持ち、伝言や様子を伝えるなど、共に本人を支えていく関係であるように努めている。</p>		
20	8	<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている</p>	<p>自宅や友人・兄弟宅の訪問には、家族か職員が付き添っている。そのほか、本人が希望する墓参りや馴染みの温泉行なども支援に努めている。</p>	<p>馴染みの人の訪問を促すとともに、地域に暮らす友人や知人・親戚などと、継続的な交流ができるように支援している。家族の協力を得て、墓参りや温泉も支援している。</p>	
21		<p>○利用者同士の関係の支援</p> <p>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている</p>	<p>利用者同士の関係や個性を把握し、座席の位置を調整したり、会話を取り持つなどの支援を行っている。</p>		
22		<p>○関係を断ち切らない取り組み</p> <p>サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている</p>	<p>現在までに死亡退所が1名おられるが、葬儀や初盆のお参りに伺い、遺族に出会った時は声掛け・支援に努めた。（現在は県外に引っ越しされた。）</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	9	○思いや意向の把握  一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	声掛けだけでなく、会話をする時間を心掛けて作り、本人の要望や不安を把握する。困難な要望にも丁寧に対応している。	日々の関わりの中で様子を観察し、言葉や表情などから意向や希望を把握している。意思疎通が困難な場合には、家族や関係者からの情報を得て、本人本位に職員で話し合って支援している。	
24		○これまでの暮らしの把握  一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	日常生活の中での世間話も、大切な情報収集の機会と捉え、大切な情報は記録し把握に努めている。		
25		○暮らしの現状の把握  一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	日常の活動の中で必要に応じて検討・協議し、変化や状況の把握に努め、朝夕の申し送りやミーティングなどで、情報の共有を図っている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング  本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	本人の意見はもとより、家族や主治医との意見交換で、現状に即した介護計画を作成できるよう努めている。	本人や家族・主治医などの意見を聞き、介護計画を作っている。1ヶ月毎にモニタリングを実施し、職員全体でカンファレンスを行い、現状に即した介護計画を作成している。	



自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>日々の様子は個別記録に残し、毎月の評価表では、支援経過としてポイントを記録して、実践や計画の見直しに活かしている。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々にも生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>病院受診時の送迎・付き添い、近所の自宅や友人・兄弟宅への訪問や、墓参りに付き添うなど個別支援に努めている。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>地域行事（六月灯の灯ろう作り・盆踊り・歳の市等）へ、職員の付き添いで参加され、安全に、豊かな暮らしを楽しんで頂くよう努めている。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>本人及び家族等の希望に基づき、支援や家族の協力を得て、かかりつけ医を受診したり往診を受けたりしている。</p>	<p>本人や家族が希望するかかりつけ医の受診を支援している。必要に応じて、受診に付き添い、普段の様子や変化を伝えるようにしている。かかりつけ医の往診もあり、適切な医療が受けられるよう支援している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>著しいBPSDが見られ医療との連携を必要とする状態時や、日常の体調管理・内服管理などを、職場内の看護資格を持った職員と連携しながら支援している。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>利用者の入院時には、情報の提供を口頭や文章にて行い、退院時は医師の指示や看護要約を頂くことで、連携を図っている。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>入所時に、重度化した場合の家族の意向を確認する。身体機能の低下に合わせて、家族との話し合いを重ねている。</p>	<p>重度化や終末期に伴う事業所としての対応について、本人や家族に説明している。本人や家族の意向を確認しながら、段階的に話し合いを重ね、職員も共有し支援していく方針である。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>定期的ではないが、緊急連絡網の確認や、救急対応の訓練を行っている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	○災害対策  火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	昼間・夜間想定避難訓練を行い、また、地域住民も参加しての避難訓練を行った。自主防災組織も形成し協力体制を築いている。通勤距離が2～3分の職員が、3名いる。	年2回消防署の協力を得て、昼夜間想定した避難訓練を実施している。近隣在住の事業所職員や地域住民との協力体制もできている。災害時の食料等の備蓄もされている。	
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保  一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	利用者一人ひとり、その方に合った言葉使い、尊重した言葉使いに努めている。また、入浴時・居室・トイレの使用時などドアを閉めて、プライバシーの確保にも努めている。	日々の関わりの中で、利用者の尊厳とプライバシーを重視したケアや言葉かけに配慮し、トイレ誘導等、さりげなく支援している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援  日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	ケアマネージャーや担当職員を中心に、本人の思いや希望を引き出す会話を意識している。そして出来る範囲で、本人の自己決定を尊重している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
38		<p>○日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>起床から就寝まで、一人ひとりのペースを尊重し、入浴や外出の希望にも出来るだけ対応できるように努めている。</p>		
39		<p>○身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している</p>	<p>一日何回も着替えたり、こだわりのある上着を着続けたり、その人の想いを大切にしながら、清潔な身だしなみを支援している。髪は、訪問散髪を利用している。</p>		
40	15	<p>○食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	<p>季節の食材や家庭菜園の野菜などを活用し、下ごしらえ・調理・片づけなどを一緒に行い、食事を楽しんで頂けるよう努めている。</p>	<p>菜園で採れた旬の食材などを使い、利用者の希望を聞いて献立を作っている。個々人の力を活かしながら、後片づけなど職員と一緒にしている。行事食など食事が楽しみなものになるよう工夫している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事量は記録に残している。水分量の少ない方には、果物や好みの飲み物に変えて、摂取を支援している。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後うがいや義歯洗浄を、一人ひとりのADLに合わせて、声掛けしたり支援したりしている。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排尿パターンに合わせて支援するほか、自立度や意思を尊重し、トイレに立った時に合わせて、さり気なく支援が出来るよう努めている。就寝時の失敗を減らすため、定時の声掛け・誘導を行っている。	排泄の自立に向けて、排尿パターンを把握し、時間を見計らってトイレ誘導をしている。トイレで排泄できるように支援し、おむつを減らす取り組みをしている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	排便確認と指示の下剤調整状況の情報を共有し、便秘の原因や改善方法の検討を行っている。 (間食に芋類を取り入れ、水分量確保の工夫に努めている。)		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	○入浴を楽しむことができる支援  一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	声掛けやタイミングを工夫したり、入浴拒否が続くときは、足浴やトイレ時の陰部洗浄の支援に変えるなどして、不快感が生じないように、又、気分転換が出来るように努めている。	個々人の希望に添った入浴ができるように支援している。また、家族の協力を得ながら、地域の温泉を楽しむ支援もしている。	
46		○安眠や休息の支援  一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	自室にての休息はいつでも対応し、フロアのソファや畳でも自由にくつろいで頂いている。夜間の不眠時には声掛けや付き添うことで、安心できるよう努めている。		
47		○服薬支援  一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	内服説明書を一冊にまとめ、看護資格を持った職員を中心に管理し、支援と症状の変化の確認に努めている。		
48		○役割、楽しみごとの支援  張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	洗濯物たたみや掃除の手伝い、花壇や菜園作りへの参加等で、役割や張り合いのある日々を、個々の誕生会や忘年会・ドライブ・ピクニック等で、楽しみや気分転換の支援に努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。</p>	<p>ADLの低下により散歩が困難な方も、庭の散歩や外気浴の支援を行っている。家族の協力で、墓参りや外食・温泉などへ出かける方もおられる。ドライブを兼ねてイベント時に、自施設（他事業所）に出かけている。</p>	<p>日常的に、近隣の散歩や買い物など戸外に出かけられるよう支援している。年間計画を立てて地域のイベントや花見に参加している。家族の協力を得て、外食や墓参も支援している。</p>	
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>現在一名の方が、こづかい程度のお金を所持しておられるのみで、衣類などの買い物に同行し支援している。</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>電話の希望に対しては、家族の許可や情報を得て、状況や必要に応じて支援している。手紙や年賀状も、なるべく直筆で書いて頂いている。</p>		
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>建物内数か所に温湿度計を設置し、季節や天候・気温に応じて、明るさや空調の調節を行っている。また、季節の花や飾り付けをして、季節感を採り入れている。</p>	<p>共用空間は換気や採光・温湿度に配慮し、玄関に花や季節の飾りものがある。フロアには、大きなテーブルとソファや椅子・畳の間があり、居心地よく過ごせるように配慮されている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり  共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	フロアには、椅子の他にもソファや畳の間など、独りでくつろぐ空間が設けられている。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮  居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	仏壇を置いたり、テーブルや洋服かけを置いたりとか、ベッドや家具類の配置についても、希望に合わせて配慮している。	居室には、家族と話し合って思い出のものや使い慣れた品物が持ち込まれている。居室の入り口には、名前や飾り付けをして、安心して居心地よく過ごせるような工夫がされている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり  建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	トイレや居室に名前や飾りをつけることで、迷って不安になったり他者に迷惑を掛けないように、本人と一緒に工夫している。		



## V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1 ほぼ全ての利用者の
			2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らしている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
		○	2 数日に1回程度ある
			3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1 大いに増えている
		○	2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)		1 ほぼ全ての職員が
		○	2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての家族等が
		○	2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない